

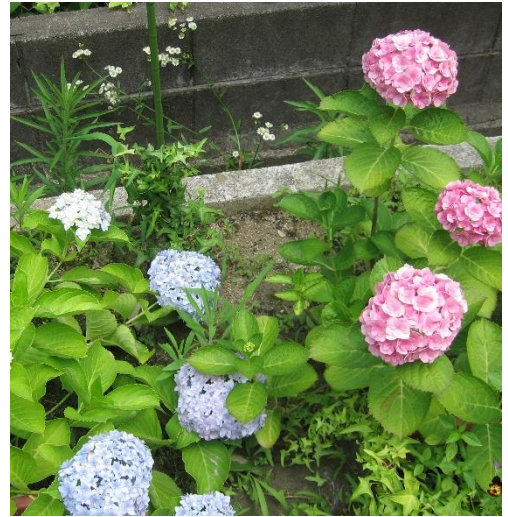


理科部

平成 29 年 6 月 26 日

アジサイとカタツムリ

6月の梅雨の時期になると、赤や紫のアジサイの花が咲きます。土壌のPH（酸性やアルカリ性）で、アジサイの花の色が変わると聞いたことがあります。上の写真は、2本のアジサイの花の写真です。株は近接しているのに、土壌のPHで色が異なることは考えにくいです。どうやら、もともと紫の花の咲くアジサイ、ピンクの花の咲くアジサイが植えてあると考えたほうがよいみたいです。でも、調べてみると、アジサイの花色は土



壌 pH（厳密に言えばアルミニウムイオン含量）に影響を受け、酸性時は青系・アルカリ性時は赤系の色になるようです。降雨の多い日本は、どちらかというとも酸性寄り（車の排気ガスや二酸化炭素等の影響）の土壌になります。そうすると、アジサイを育てていると年々青っぽく変わっていくので、青系のものが増えるようです。

話は異なりますが、リトマスは「酸性＝青→赤」。アジサイは、アルカリで赤色です。同じ植物（リトマスはコケ）でも、PHで色が反対とは興味深いです。

そうそう、体育館の北側のアジサイにカタツムリは居ませんでした。アジサイの葉には毒があるのを知っていますか？

アジサイの葉に毒があるので、カタツムリを含め、動物はアジサイの葉に近づくことはあまりないそうです。

撮影日 平成 29 年 6 月 24 日

撮影場所 勝山中学校